



平窪の学舎



第7号

「田植え体験」で、育てる喜びを！ (5年生) [総合的な学習の時間]

6月1日(月)に、5年生が、鈴木義直様にご指導をいただきながら、田植え体験を行いました。まず、鈴木様から、稲を育てるための年間を通した作業や農家の方の思い、仕事のたいへんさなどについてお話をうかがいました。その後、田植え機による田植えを見学し、手植えを体験しました。「田植えは初めて」という子どもがほとんどで、ぬかるむ泥に苦戦しながらも、バランスをとりながら一生懸命植えました。とても楽しかったようです。

秋には稲刈りを行い、餅つきをして5年生全員でいただくことになっています。稲の生長がとても楽しみです。

なお、この活動は、公益財団法人JKA「地域ふれあい交流活動」の補助事業として支援を受けております。



熱中症に注意！ 特に「マスク着用時」

熱中症が心配される季節になりました。学校においても、児童の健康観察、水分補給などをこまめに行っております。今後、気温や湿度がさらに高くなっていきますので、エアコンの使用や、体育科をはじめとする諸活動において、「暑さ指数」等も踏まえながら、実施の可否や進め方を判断してまいります。

なお、今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、学校生活においては日常的にマスクを着用しています。しかしながら、運動時の酸素欠乏や熱中症のリスクを考慮し、体育科の授業では、人との間隔を2m以上とるよう指導しながら、マスクを外して行うことにしています。感染が心配で、体育の時間も外さないことを希望する場合には、お子さんと相談して担任にお知らせください。

熱中症予防には、睡眠や食事、健康観察などが大切ですので、ご家庭においてもよろしく願いいたします。



